

物流業界「2024年問題」ご存知ですか

2024年4月から自動車運転業務にも「働き方改革関連法」の適用が開始されます。今まで法律上の上限規制のなかったトラックドライバーの時間外労働時間が年間960時間までに限定されます。これによりトラックドライバー不足が一層深刻化し、中長距離陸送を中心に今まで通りの輸送が出来なくなることが懸念されます。1日当たりの走行距離は500キロ未満と想定され、納期の延長、それに伴うコストアップ、コンプライアンス上のリスクが発生すると予想されます。こうした状況は、物流業界の「2024年問題」と呼ばれ、規制適用開始に向けた物流の効率化が必要とされています。

長距離輸送における「2024年問題」の有効な対策として

「RO-RO船」海上輸送があります



2023年7月18日見学会開催!!

詳細については以下までご連絡ください。

〈お問い合わせ先〉

大王海運 関西営業部 定航課 岡山営業所
岡山県玉野市田井6丁目7番2号

TEL:0863-31-7250 FAX:0863-31-7275



会社HP

2024年問題
への備え

環境に
やさしい

自然災害
への備え

ドライバー不足
への対応

SDGs

BCP策定

大王海運株式会社

「RO-RO船」輸送とは

どんなサービス？

お客様の貨物を戸口で受け取り、陸上輸送と海上輸送を利用して目的地へお届けするシャーシ（荷台）リレー方式で輸送します。海上輸送区間はシャーシ（荷台）のみの無人航走となる為、トラックドライバーは拘束しません。



どのような車両で運ぶの？

「13mウィングトレーラーシャーシ」と「13m平トレーラーシャーシ」を使用
大型車と比べ、容積約1.3倍、重量約1.5倍を積載



「RO-RO船」輸送のメリットとは

- ①省力化・・・貨物を積んだトレーラーの荷台部分のみ乗船して輸送します。その為、中長距離輸送の大半を占める幹線輸送を無人で輸送することが可能で、高い省力化効果を得られます。
- ②モーダルシフト・・・陸上トラック輸送から環境負荷の低い船舶輸送に切り替えることで、輸送中のCO2排出量を削減することが出来ます。
- ③BCP対策・・・輸送経路の大半が海上となることで、陸上交通網寸断の影響を受けません。災害に強い輸送手段としてBCP（事業継続計画）の観点から利用することが可能です。
- ④労務環境改善・・・トラックドライバーの輸送範囲は日帰り運行が可能な近距離が中心となり、労働環境の改善に繋がります。

輸送風景はコチラをチェック <https://www.youtube.com/watch?v=dFOX23my5cU>